

(様式3号)

## 学位論文の要旨

氏名 岡 桃子

### 〔題名〕

急性散在性脳脊髄炎における髄液中タウ蛋白値の検討

(Tau protein concentrations in the cerebrospinal fluid of children with acute disseminated encephalomyelitis)

### 〔要旨〕

背景：急性散在性脳脊髄炎（Acute disseminated encephalomyelitis 以下ADEM）は、予防接種や感染後に急性に神経症状をきたすことで知られており、自己免疫機序による脱髄が基本病態である。タウ蛋白は、微小管結合蛋白の1つで、主に神経軸索内に存在する。髄液中タウ蛋白値の上昇は、様々な病態で観察されている。

方法：ADEMにおける軸索障害のマーカーとして、小児ADEM患者27例の髄液中タウ蛋白値を測定し解析した。

結果：ADEM群の急性期髄液中タウ蛋白値は、対照群に比し、有意に高値だった ( $p=0.008$ )。脳症症状を認めた群と認めなかった群で、髄液中タウ蛋白値に有意差は認めなかった。頭部のフォローアップMRIにおいて、病変の残存を認めた群は、病変が残存しなかった群に比し、髄液中タウ蛋白値が有意に高値であった ( $p=0.014$ )。

結論：髄液中タウ蛋白値は、ADEM患者において上昇することを示した。ADEMの基本病態は炎症性脱髄であることが知られているが、本研究の結果から、一部の症例では、神経軸索障害を伴っている可能性が示唆された。

## 学位論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 第 1367 号	氏 名	岡 桃子
論文審査担当者	主査教授	神田 玲	
	副査教授	大賀 正一	
	副査教授	美津島 大	
学位論文題目名 (題目名が英文の場合、行を変えて和訳を括弧書きで記載する。)			
急性散在性脳脊髄炎における髄液中タウ蛋白値の検討			
学位論文の関連論文題目名 (題目名が英文の場合、行を変えて和訳を括弧書きで記載する。)			
Tau protein concentrations in the cerebrospinal fluid of children with acute disseminated encephalomyelitis (急性散在性脳脊髄炎における髄液中タウ蛋白値の検討)			
掲載雑誌名 Brain & Development 第 36 巻 第 1 号 P. 16~20			
(論文審査の要旨)			
<p>背景：急性散在性脳脊髄炎 (Acute disseminated encephalomyelitis 以下 ADEM) は、予防接種や感染後に急性に神経症状をきたすことで知られており、自己免疫機序による脱髄が基本病態である。タウ蛋白は、微小管結合蛋白の1つで、主に神経軸索内に存在する。髄液中タウ蛋白値の上昇は、様々な病態で観察されている。</p> <p>方法：ADEM における軸索障害のマーカーとして、小児 ADEM 患者 27 例の髄液中タウ蛋白値を測定し解析した。</p> <p>結果：ADEM 群の急性期髄液中タウ蛋白値は、対照群に比し、有意に高値だった (<math>p=0.008</math>)。脳症症状を認めた群と認めなかった群で、髄液中タウ蛋白値に有意差は認めなかった。頭部のフォローアップ MRI において、病変の残存を認めた群は、病変が残存しなかった群に比し、髄液中タウ蛋白値が有意に高値であった (<math>p=0.014</math>)。</p> <p>結論：髄液中タウ蛋白値は、ADEM 患者において上昇することを示した。ADEM の基本病態は炎症性脱髄であることが知られているが、本研究の結果から、一部の症例では、神経軸索障害を伴っている可能性が示唆された。</p> <p>以上、本論文は学位論文として価値あるものと認めた。</p>			